

# 外部 Projector/LCD の CTS システム ステータスに赤い X が表示される

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題： 外部 Projector/LCD がはたらくがレッド X はシステム状態に現われます](#)

[解決策 1： 設定](#)

[解決策 2： ハードウェア](#)

[ACU のシステム](#)

[LCU が付いているシステム](#)

[プロジェクターおよび ACU のシステム](#)

[ACU、シリアルケーブルおよび外部 LCD のシステム](#)

[AEB のシステム](#)

[LAEB のシステム](#)

[解決策 3： ソフトウェア](#)

[追加ヘルプ](#)

[関連情報](#)

## 概要

Cisco TelePresence システム ( CTS ) では、外部プロジェクターはか LCD は正しくはたらくかもしれませんがシステム状態 GUI でレッド X があります。この資料はレッド X.さらに詳細なトラブルシューティング 助言を解決するために複数のメソッドを[関連情報](#)のプロダクトガイドで利用できます記述したものです。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco TelePresence エンドポイント
- Cisco Unified Communications Manager ( CUCM )

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco TelePresence TX9000 シリーズ
- Cisco TelePresence TX9200 シリーズ
- Cisco TelePresence TX1310 シリーズ
- Cisco TelePresence System 3000 シリーズ
- Cisco TelePresence システム 3010 シリーズ
- Cisco TelePresence System 3200 シリーズ
- Cisco TelePresence システム 3210 シリーズ
- Cisco TelePresence System 1300 シリーズ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 問題：外部 Projector/LCD がはたらくがレッド X はシステム状態に現われます

外部プロジェクターか LCD が正しくはたらいても、レッド X は CTS システム状態に現われるかもしれません。緑のチェックを得るために、ケーブルは正しくプラグを差し込む必要があります。CUCM 設定は互換性のあるバージョンは使用する必要があります。

最初に、セットアップを確認して下さい：

- プロジェクターまたは LCD はついていますか。
- プロジェクターか LCD ケーブルは接続されますか。

それから、コーデック プロファイルを確認するために示されるソリューションをこの資料で使いハードウェアをチェックし、潜在的な問題のためのソフトウェアを検討して下さい。

## 解決策 1：設定

このプロシージャは CUCM のコーデック プロファイルを確認する方法を記述します：

1. CTS 3010/3210 システムがある場合、正しい Cisco TelePresence 型が製品別の設定 レイアウトで選択されることを確認して下さい。正しい外部デバイスが CUCM で選択されるようにして下さい；CTS 3000/3200 システムに外部プロジェクターがあり、CTS 3010/3210 システムに外部 LCD があります。
2. プレゼンテーション出力装置がプロジェクター/ディスプレイであることを確認して下さい。  
。
3. 補助制御 装置 ( ACU ) が使用される場合、**補助制御 装置** チェックボックスが選択されるこ

とを確認して下さい。環境内にプレゼンテーション コーデックがある場合、プレゼンテーション コーデック チェックボックスが選択されることを確認して下さい。

## 解決策 2：ハードウェア

設定が正しい場合、それからハードウェアをチェックする必要があります。

最初に、サポートされたプロジェクターを確認すれば LCD は使用されています。 [Cisco TelePresence システムソフトウェアリリース 1.10 についてはリリース ノートを参照して下さい](#)。詳細については [サポートされた CTS 補助デバイス](#)。

次に、ケーブル接続を確認して下さい。ケーブルは特定のポートに情報を正しく引っ張り、押すためにプラグインする必要があります; 正しい配線は別の CTS ハードウェアによって変わります。

### ACU のシステム

シリアルケーブルはシリアルに ACU の 1 つの出力ポート接続する必要があります。

### LCU が付いているシステム

軽い制御 装置 ( LCU ) は ACU へサクセサ、TX シリーズ エンドポイントとだけ使用されます。ケーブル接続は大いにより簡単です。

TX9000/TX1310 システムに関しては、シリアルケーブルは ACU で出力される唯一のシリアル 1 に接続する必要があります。

現在 TX シリーズ エンドポイントのたった 1 つのモデル LCD があり、背部の 1 シリアルポート接続があります。LCD の先頭に直面する場合、ポートは左側のディスプレイの後側にあります。ケーブルがポートに堅くつくことを確認して下さい。

### プロジェクターおよび ACU のシステム

プロジェクターのサービス ポートにシリアル接続をきちんと接続されます確認して下さい。ケーブルにインポートにコネクタをロックするために引っ張る必要があるバネ付き袖があります。ケーブルがきちんと接続されるとき、コネクタがロックする、プロジェクターからケーブルを緩く外せまはずですときクリックを聞き。

### ACU、シリアルケーブルおよび外部 LCD のシステム

シリアルケーブルは LCD の入力 シリアルポート 1 に接続する必要があります。このポートは会議参加要素に最も密接にあり、( HDMI ) 接続の隣で高解像度マルチメディア インターフェイス ( HDMI ) ケーブル右です。

注: LCD の第 2 シリアルポートを使用する場合、アラーム結果およびデフォルト設定は押されません。

これは CTS 3x00 システムの外部 LCD の正面図です。

同じ LCD の下側ビューは正しくシリアルポート 1. に接続されるシリアルケーブルを示します。HDMI ケーブルはその隣で接続される黒いケーブルです。

## AEB のシステム

可聴周波拡張ボード ( AEB ) はまた可聴周波遠隔表示装置増設機構または A/V 展開ボックスとして確認します。LCD ケーブル ( 補助ディスプレイ ) は ( HDMI ) ポート 4 AEB のビデオ接続する必要があります。

注: 異なるモデルおよび異なる周辺装置オプションがあるので、追加ダイアグラムおよびセットアップ詳細については適切なアセンブリ ガイドを参照して下さい。

## LAEB のシステム

Lago 可聴周波拡張ボード ( LAEB デザイン変更が第 2 表示ポートを追加したので ) の TX9x00/TX1310 システムで、ケーブル接続はわずかに修正されました。TX1310 システムの第 2 ポートはマイクロフォン アレイのために使用されます。

## 解決策 3 : ソフトウェア

注 :

このセクションで使用されているコマンドの詳細を調べるには、[Command Lookup Tool](#) ( [登録ユーザ専用](#) ) を使用してください。

特定の show コマンドが [アウトプット インタープリタ ツール](#) ( [登録ユーザ専用](#) ) でサポートされています。show コマンド出力の分析を表示するには、[アウトプット インタープリタ ツール](#) を使用します。

設定およびハードウェアが正しく設定される場合、ACU のシステムの潜在的なソフトウェアの問題を探して下さい。このプロシージャは ACU のソフトウェア バージョンが正しく、現在であることを確認する方法を記述します:

1. コーデックにアクセスするためにセキュア シェル ( SSH ) に行き **提示アップグレード detail コマンド** を入力し、探して下さい「補助 ctrl のバージョンを」。この例では、ACU はバージョン 1.27 を実行しましたりバージョン 1.30 を実行する必要があります。

2. アップグレードを、一定アップグレード補助 ctrl コマンドをそれから utils システム 再始動を用いるコーデックを再起動するために入力するために ACU に押すために、命じて下さい。

3. コーデックがバックアップ、バージョンが現在正しいことを確認して下さい。

LCU が付いている TX シリーズ プラットフォームで、ファームウェアをチェックするのにこの同じアプローチを利用して下さい。バージョン 1.30 の代わりに、「補助 ctrl」を実行していますバージョン 1.10 を確認して下さい。

CTS システムが 1.6.3 によってバージョン 1.6.0 を稼動する場合、既知の障害に出会うかもしれません。Cisco バグ ID [CSCt40685](#) を、「CFD 参照して下さい: プレゼンテーション LCD デフォルトを設定して詳細については 1.6," と失敗します。

## 追加ヘルプ

この資料はレッド X がシステム状態で見られるほとんどのケースを解決するのを助ける必要があります。ただしこの資料のソリューションを探索した後、アラームがそれでもあれば、詳細事項のための連絡先 Cisco カスタマー カスタマ・サポート。

## 関連情報

- [CTS 30x0 インストールとアップグレード ガイド](#)
- [TS 32x0 インストールとアップグレード ガイド](#)
- [TX9x00 インストールとアップグレード ガイド](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)